

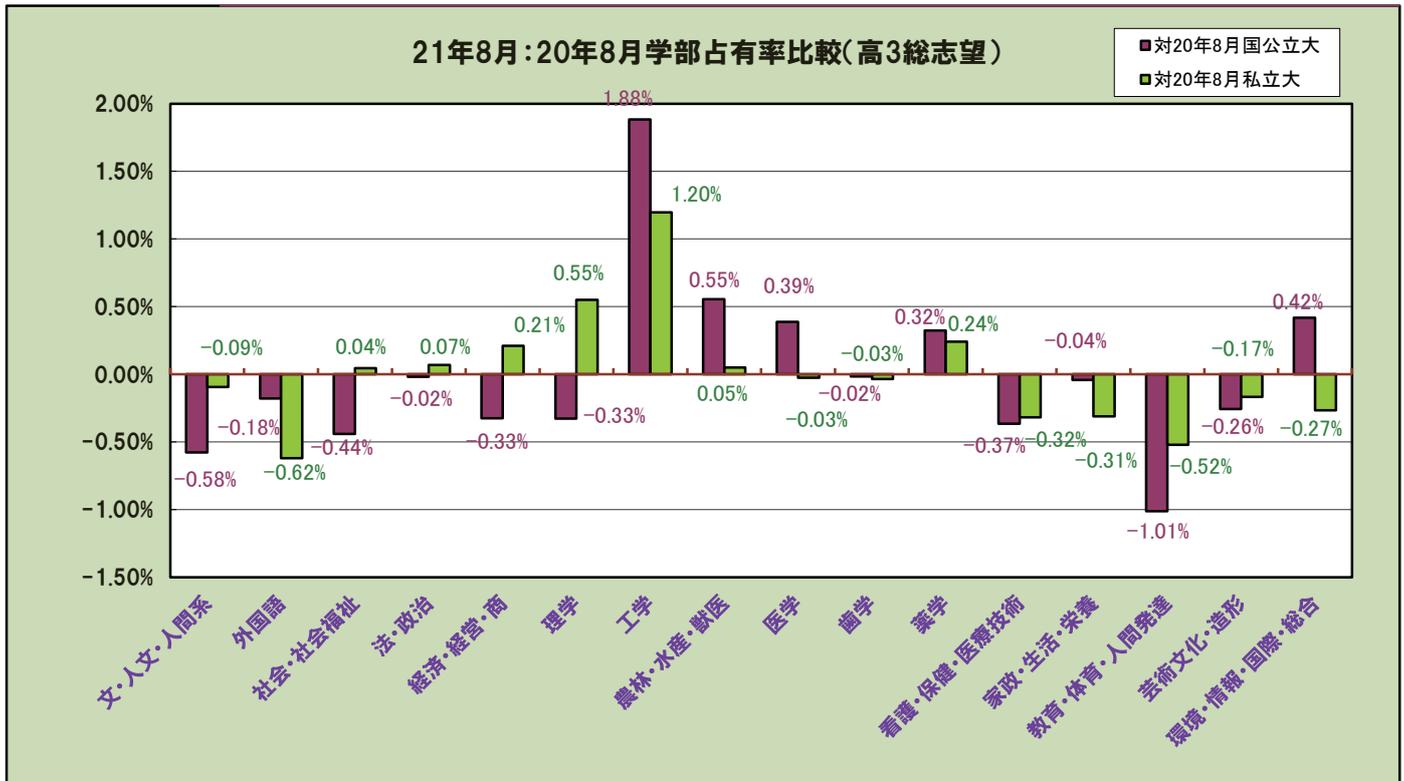
第3回 8月 共通テスト本番レベル模試

実りの秋に向けて、夏の学習を しっかりと振り返ろう！

8月22日（日）に実施した「第3回 8月 共通テスト本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期の高3生の志望動向と比較した。

この夏と同様、コロナ禍の中で勝負の夏を過ごした先輩たちは、大学で何を学ぼうと志し、大学選びをしていたのだろうか。各大学から入試要項は公表されているが、今後の状況によっては変更となる可能性もある。その場合、大学ホームページでの告知となるので、志望大学の入試情報はこまめにチェックしつつ、受験勉強を進めていくようにしよう。

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	91	99	97
外国語	87	77	79
社会・社会福祉	82	101	96
法・政治	100	101	100
経済・経営・商	97	101	99
理学	96	112	104
工学	107	107	108
農林・水産・獣医	111	102	109
医学	105	98	105
歯学	98	86	95
薬学	111	108	109
看護・保健・医療技術	95	94	95
家政・生活・栄養	96	83	86
教育・体育・人間発達	88	90	90
芸術文化・造形	70	88	82
環境・情報・国際・総合	108	96	100

■国公立大

感染拡大が止まらない新型コロナウイルス感染症の影響は2022年度入試にも出ることが現実味を帯びているため、入学後の学びの環境や就職を意識するか、理高文低の志望動向は継続している。特に、工学系や近年は比較的不人気傾向にあった農林・水産・獣医系に人気の高まりは表れており、一方で外国語系は敬遠されている。

■私立大

国公立大学同様、理系は人気傾向にあるが、資格取得系の人気は薬学系を除き、下降傾向にある。一方で国公立に比べると設置大学の多い文系の学部系統は、外国語系を除き、一定の志望者数がある状況である。

※このデータは、2021年と2020年の「第3回 8月 共通テスト本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。